

大和高原で 植物観察& 森林浴ウォーク



▲奈良植物研究会会員の誘導で植物観察する参加者



◀イタドリのお浸し、よもぎの天ぷらなど10種類の山野草料理でおもてなし

5月26日、大和高原の福住地区周辺で「てくてくてんり『春』植物観察&森林浴ウォーク」が行われました。

約100人の参加者は8キロのコースを歩きながら、奈良植物研究会の森本範正氏、前田徳男氏、尾上聖子氏による現地案内で、大和高原に自生する珍しい草花や樹木を観察しました。その後、山田公民館での昼食では、福住校区郷土活性化プロジェクト協議会の人たちや、食生活改善推進員らによる山野草料理のふるまいがあり、参加者は舌鼓を打っていました。

昼食の後、福住いにしえ会の岡田忠弘さんによる「七曲峠」の案内では、森林浴ウォークも満喫した参加者。

「草花の名前がよくわかった。何より地元の人のおもてなしがうれしかった」と参加者は目を細めていました。

“はっけよい” 真っ向勝負 ～感謝から学ぼう 日本の心～



▲土俵際での真剣勝負！



◀一心不乱で勝負にかける両者

相撲を通して感謝と日本の心を学び、相撲に関心を持ってもらおうと6月8日、「わんぱく相撲天理井戸堂場所」が井戸堂小学校で行われました。
天理・山添・都祁地区の小学1年生から6年生までのわんぱく力士約70人が参加。まわし姿で土俵に登場すると、「はっけよい」のかけ声と同時に勢いよく相手にぶつかり、真っ向勝負で会場を沸かせていました。
4年生から6年生までの各学年の部で優勝したわんぱく力士は、7月下旬に両国国技館で開かれる全国大会に出場します。